

図書館司書、学芸員にチャレンジ

-大学の教育課程を修了することで取れる資格とは-

教職以外にも大学で開講されている所定科目の単位を収めることで取得することができる資格があるのをご存知でしょうか？今回は、現在、図書館司書と博物館学芸員という二つの資格取得を目指している森田さんに話を聞いてみました！

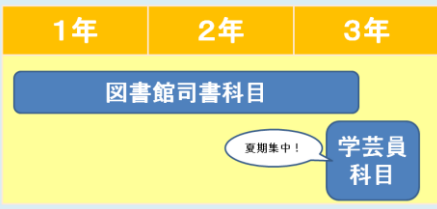
Q1. いつから資格授業をとり始めましたか？

1年の春学期からです。図書館司書の総単位数は多く、学芸員も取るためには早めにスタートしなければと最初の学期から資格単位を取得しました。

Q2. 資格を取ろうと思った理由は何ですか？

私は図書館司書と学芸員資格の両方の取得をめざしていますが、その目的は文学部生にも取得可能な資格を確保することです。文科系の知識を活かしつつ習得することのできる数少ない資格が図書館司書および学芸員資格です。これらを取得して将来の就職に少しでも役立てたい、というのが私の目的になります。

森田さんの履修スケジュール例



Q3. 授業をとってよかったことは何ですか？

図書館司書資格は、図書館の仕組みについて詳細に学びます。そのため、どの場所にどんな資料がどのような原理で配列されているかがわかり、資料をすばやく探せるようになります。また、普段のレポートに用いる情報や論文の検索技術も向上し、司書のスキルは非常に役に立ちます。

Q4. 大変だったことは何ですか？

図書館司書資格も学芸員資格も、授業が比較的5・6限に集中しており、取りたい文化構想学部の授業がとれずに非常にやきもきした覚えがあります。サークルの時間と授業がかぶってしまうこともよくありました。また、資格科目はたいていレポートとテストのどちらかがしっかりと課され、その両方が課される科目も少なくないため、テスト期間は苦労します。しかし、まじめに出席して課題をこなせば、問題ありません。

Q5. 新入生へのメッセージ

新入生のみなさんはやりたいことがたくさんあると思います。図書館司書資格、学芸員資格のための科目履修を検討している方もいるでしょう。もし、どちらも非常に狭き門で実際に就職するのは難しいと聞かされ、履修を断念しようとしている方がいれば、それはもったいないことだと思います。資格科目には自身の知識や能力を向上させ、新しい見方を開いてくれる価値があります。資格は就職を約束するものではなく、その人の知識と能力、そして成長を証明するものだと感じています。何かに挑戦したいという意思を持つ方は、ぜひ資格科目を履修してみてください！

こうはいナビスタッフの
おすすめ施設！

中央図書館

早稲田大学には550万冊以上の資料が所蔵されています。中央図書館は、全22ある図書館・図書室のうち最大の図書館！司書資格取得を考えている方はもちろんのこと、空き時間等を活用して豊富な学術環境を利用しましょう！



PROFILE

森田 悠暉 (もりた ゆうき)
文学部美術史コース3年
アカデミックサークル代表